

## ◇ 中央病院

診療部、診療技術部、看護部、事務部、地域医療連携センター、医療安全対策室、感染対策室、診療情報管理室が置かれており、職員は病院長以下978人(うち会計年度任用職員245人)である。

事業の目的は、市民などの健康保持に必要な質の高い医療を効率的に提供することである。

### 1 予算の執行状況

#### (1) 収益的収入及び支出

○収入 (単位：円、%)

区 分	予 算 額	調 定 額	予 算 残 額	執行率
病院事業収益	14,900,000,000	5,436,145,705	9,463,854,295	36.48
医 業 収 益	13,795,395,000	5,222,168,071	8,573,226,929	37.85
医 業 外 収 益	1,104,604,000	213,977,634	890,626,366	19.37
特 別 利 益	1,000	0	1,000	0.00

○支出 (単位：円、%)

区 分	予 算 額	支出命令額	予 算 残 額	執行率
病院事業費用	15,400,000,000	5,408,568,650	9,991,431,350	35.12
医 業 費 用	14,938,370,000	5,243,425,858	9,694,944,142	35.10
医 業 外 費 用	456,629,000	165,142,792	291,486,208	36.17
特 別 損 失	1,000	0	1,000	0.00
予 備 費	5,000,000	0	5,000,000	0.00

ア 8月末日時点における税込み収益的収支は、27,577千円の黒字を生じているが、これには、新型コロナウイルス感染症などの支援に伴う国庫補助金152,885千円が含まれている。

イ 8月末日時点における入院収益は、前年度同期と比較し280,280千円増加の3,676,924千円となっている。これは、入院患者数が363人、1日平均で2.4人、入院1人1日当たりの診療単価が4,541円(7.56%)それぞれ増加したことによるものである。

ウ 8月末日時点における外来収益は、前年度同期と比較し36,519千円増加の1,450,001千円となっている。これは、外来1人1日当たりの診療単価が816円(4.80%)の減少となったものの、外来患者数が6,445人、1日平均で63.2人の増加となったことによるものである。

8月末日時点の令和2年度と令和3年度の調定額及び支出命令額の比較は、次のとおりである。

(単位：円、%)

区 分	令 和 2 年 度	令 和 3 年 度	増 減 額	増 減 率
病院事業収益	5,651,458,698	5,436,145,705	△215,312,993	△3.81
医業収益	5,167,703,603	5,222,168,071	54,464,468	1.05
入院収益	3,396,644,144	3,676,924,008	280,279,864	8.25
外来収益	1,413,482,046	1,450,000,834	36,518,788	2.58
他会計負担金	284,000,000	0	△284,000,000	皆減
その他医業収益	73,577,413	95,243,229	21,665,816	29.45
医業外収益	483,755,095	213,977,634	△269,777,461	△55.77
受取利息及び配当金	400	400	0	0.00
他会計負担金	416,000,000	0	△416,000,000	皆減
国庫補助金	0	152,885,000	152,885,000	皆増
県補助金	6,284,000	0	△6,284,000	皆減
長期前受金戻入益	0	0	0	-
その他医業外収益	61,470,695	61,092,234	△378,461	△0.62
特別利益	0	0	0	-
その他特別利益	0	0	0	-
病院事業費用	5,263,234,455	5,408,568,650	145,334,195	2.76
医業費用	5,099,843,535	5,243,425,858	143,582,323	2.82
給与費	2,863,596,355	2,939,914,451	76,318,096	2.67
材料費	1,400,416,160	1,454,844,223	54,428,063	3.89
経費	824,204,640	835,582,222	11,377,582	1.38
減価償却費	0	0	0	-
資産減耗費	80,300	445,500	365,200	454.79
研究研修費	11,546,080	12,639,462	1,093,382	9.47
医業外費用	163,390,920	165,142,792	1,751,872	1.07
支払利息及び企業債取扱諸費	0	0	0	-
保育所運営費	17,246,776	17,368,051	121,275	0.70
雑損失	146,144,144	147,774,741	1,630,597	1.12
消費税及び地方消費税	0	0	0	-
特別損失	0	0	0	-
その他特別損失	0	0	0	-
予備費	0	0	0	-
予備費	0	0	0	-
利 益 金	388,224,243	27,577,055	△360,647,188	△92.90

## (2) 資本的収入及び支出

### ○収入

(単位：円、%)

区 分	予 算 額	調 定 額	予 算 残 額	執行率
資 本 的 収 入	400,000,000	1,110,000	398,890,000	0.28
企 業 債	400,000,000	0	400,000,000	0.00
寄 附 金	0	1,110,000	△1,110,000	-

### ○支出

(単位：円、%)

区 分	予 算 額	支出命令額	予 算 残 額	執行率
資 本 的 支 出	970,403,000	4,065,640	966,337,360	0.42
建 設 改 良 費	434,150,000	3,665,640	430,484,360	0.84
企 業 債 償 還 金	532,853,000	0	532,853,000	0.00
貸 付 金	2,400,000	400,000	2,000,000	16.67
予 備 費	1,000,000	0	1,000,000	0.00

資本的支出のうち、建設改良費は、施設改良費で、3B病棟の個別空調設備及び空調電源工事(1,289千円)、職員休憩室電源設置工事(440千円)を執行し、固定資産購入費で、ルームエアコン(652千円)、ストレッチャー2台(431千円)、超音波凝固装置(366千円)などを購入している。

また、貸付金は、助産師修学資金貸付金(400千円)を執行している。

## 2 事務事業の執行状況

### (1) 病床の状況

8月末日時点の病床数は520床である。診療日数は入院が153日、外来が102日である。

### (2) 患者数の状況

患者数は、入院が延べ56,919人、外来が延べ89,562人で、前年度同期と比較すると、入院で363人、外来で6,445人と共に増加、1日平均の患者数でも入院で2.4人、外来で63.2人それぞれ増加している。

患者数の多い診療科目は、入院では、内科(27,391人)、整形外科(6,218人)、外科(5,970人)、外来では、内科(24,390人)、産婦人科(8,729人)、泌尿器科(8,675人)の順となっている。

また、前年度同期と比べ増減した診療科目は、入院では主に、内科(1,116人)、整形外科(789人)が増加、循環器科(735人)、泌尿器科(494人)が減少となっている。

外来では主に、内科(1,706人)、産婦人科(1,527人)が増加、泌尿器科(174人)、皮膚科(116人)が減少となっている。

8月末日時点の月別入院・外来患者数の状況は、次のとおりである。

(単位：人)

区分	入 院			外 来		
	令和2年度 延べ患者数	令和3年度 延べ患者数	対前年度 増 減	令和2年度 延べ患者数	令和3年度 延べ患者数	対前年度 増 減
4月	10,889	11,431	542	15,970	18,313	2,343
5月	10,842	11,352	510	14,037	16,311	2,274
6月	10,380	11,068	688	17,512	18,842	1,330
7月	12,191	11,980	△211	18,351	17,721	△630
8月	12,254	11,088	△1,166	17,247	18,375	1,128
合計	56,556	56,919	363	83,117	89,562	6,445

8月末日時点の診療科別入院・外来患者数の状況は、次のとおりである。

(単位：人)

区 分	入 院			外 来		
	令和2年度	令和3年度	増 減	令和2年度	令和3年度	増 減
内 科	26,275	27,391	1,116	22,684	24,390	1,706
精神神経科	0	0	0	1,360	1,484	124
外 科	6,096	5,970	△126	5,927	5,889	△38
整形外科	5,429	6,218	789	4,077	4,345	268
産婦人科	3,626	3,671	45	7,202	8,729	1,527
小 児 科	1,650	1,278	△372	3,414	4,019	605
眼 科	324	246	△78	4,136	4,039	△97
耳鼻咽喉科	1,280	1,102	△178	4,362	4,521	159
脳神経外科	2,179	2,444	265	2,106	2,288	182
皮 膚 科	160	190	30	4,427	4,311	△116
放射線科	0	14	14	1,918	2,292	374
形成外科	635	797	162	3,193	3,576	383
泌尿器科	3,671	3,177	△494	8,849	8,675	△174
麻 酔 科	0	0	0	234	334	100
循環器科	4,755	4,020	△735	3,885	4,605	720
高齢診療科	-	0	0	-	13	13
歯科口腔外科	476	401	△75	5,343	6,052	709
合 計	56,556	56,919	363	83,117	89,562	6,445
一日平均(人/日)	369.6	372.0	2.4	814.9	878.1	63.2
診療日数(日)	153	153	0	102	102	0

(3) 入院・外来収益の未収金の状況

8月末日時点における未収金は2,037,734,071円(現年度分1,978,999,009円、過年度分58,735,062円)、前年度同期に比べ37,687,933円(1.88%)増加している。

8月末日時点の未収金は、次のとおりである。

(単位：円)

区 分	自 己 負 担 金		保 険	そ の 他	合 計	
	入 院	外 来				
現 年 度	127,252,586	17,435,350	1,814,576,728	19,734,345	1,978,999,009	
過 年 度	43,937,622	10,053,148	4,744,292	0	58,735,062	
過 年 度 内 訳	令和2年度	16,287,699	2,992,463	4,744,292	0	24,024,454
	令和元年度	11,265,998	3,281,210	0	0	14,547,208
	平成30年度	8,891,550	1,772,640	0	0	10,664,190
	平成29年度	2,660,566	1,095,959	0	0	3,756,525
	平成28年度	2,515,965	350,847	0	0	2,866,812
	平成27年度	1,501,654	94,380	0	0	1,596,034
	平成26年度	260,019	248,482	0	0	508,501
	平成25年度	53,580	217,167	0	0	270,747
	平成24年度	206,814	0	0	0	206,814
	平成23年度	293,777	0	0	0	293,777
合 計	171,190,208	27,488,498	1,819,321,020	19,734,345	2,037,734,071	

※1 保険の種別：社会保険、国民健康保険、労災保険、公害医療、後期高齢者医療

3 特記事項

平成29年度から経営管理システムの導入により経営分析を行っているが、現状においては、分析結果の精度や分析単位の問題により十分な活用ができていない。

的確な経営分析に基づく中期経営改善計画の適正な進行管理が実行できるよう、早急に経営分析体制の整備を図られたい。

## ◇ 教育委員会

### ◎ 小学校・中学校

本年度は、コロナ禍により1年延伸した第五次富士市総合計画に合わせて延伸した教育の目指すべき姿と施策の総括的な方向性を示す「富士市教育振興基本計画(学び合い 学び続ける「ふじの人」づくり)」の後期実施計画の最終年度であり、学校教育に関しては「学び合い 学び続ける ふじの子」を基本目標とし、「豊かな心、確かな学力、健やかな体の育成」を施策の柱に掲げている。

#### 1 予算の執行状況

歳出は、教育総務課からの配当予算額で、それぞれ次のとおり執行されている。

(単位：円、%)

学 校	配当予算額 (各学校運営費)	支出負担行為額	配当予算残額	執行率
吉原小学校	9,924,000	3,305,532	6,618,468	33.31
今泉小学校	12,427,000	4,792,823	7,634,177	38.57
伝法小学校	8,058,000	3,331,520	4,726,480	41.34
神戸小学校	5,588,000	1,823,189	3,764,811	32.63
大淵第一小学校	7,727,000	2,721,532	5,005,468	35.22
大淵第二小学校	5,660,000	1,806,120	3,853,880	31.91
広見小学校	9,636,000	4,311,846	5,324,154	44.75
富士見台小学校	6,604,000	2,233,147	4,370,853	33.82
吉原第一中学校	9,829,000	3,594,173	6,234,827	36.57
大淵中学校	7,078,000	2,556,174	4,521,826	36.11
吉原北中学校	8,141,000	3,383,902	4,757,098	41.57

#### 2 事務事業の執行状況

市内の小中学校では、心を育む教育の充実を図り、子どもの自己肯定感を高めるとともに、一人一人が安心して自分の思いを語り、学び合うことのできる、魅力ある学校・学級づくりを進めている。また、主体的に学習に取り組むことができるような授業づくりの推進や、指導方法の工夫により、体力・運動能力の向上にも努めている。

そのため児童生徒の安全が保障され、安心して学校生活を送れるよう、適切な学校運営を行うとともに、教育環境の充実に努めている。